

2020年2月1日

第128号

発行：日本臨床検査技師連盟  
 発行責任者：梶山 広美  
 編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース

## ◆◆連盟ニュース◆◆

## 今号の主な内容

- ◇ 連盟執行委員会の開催
- ◇ 第1部 連盟執行委員会
- ◇ 第2部 グループワークによる意見交換
- ◇ 第3部 京都府向日市市長講演
- ◇ 医療技術者団体協議会

## 令和2年日本臨床検査技師連盟執行委員会開催

令和2年1月24日（金）東京都千代田区のビジョンセンター永田町において、令和2年日本臨床検査技師連盟執行委員会を開催した。今年は3部構成とし、第1部を連盟執行委員会、第2部をグループワークによる意見交換会、第3部を京都府向日市安田市長様の講演とした。第2部、第3部は都道府県技師会の会長も参加いただいた。

## 第1部 連盟執行委員会

## 第1部 連盟執行委員会

梶山代表から開会の挨拶があり、議事進行に入った。

## 【報告事項】

第25回参議院議員選挙の総括、令和元年ブロック会議報告、令和元年連盟活動報告を行った。

## 【議事】

## ◇ 第一号議案 令和元年連盟決算報告

中井幹事長より令和元年決算報告を行い、津田監事より監査報告があり、帳票類を確認し、適正に処理されていることが報告された。また、連盟活動についてはリアルタイムな情報の発信の重要性、会員数の増加方策の検討等が指摘された。その後、採決が行われ、第一号議案は全会一致で承認された。

## ◇ 第二号議案 令和2年連盟事業計画（案）について

梶山代表から連盟のビジョンの説明後、令和2年連盟事業計画（案）について提案があった。

（主要内容）

## ・ビジョン

政策実現のため、継続的な組織内国会議員の擁立

## ・次期参議院選挙の準備活動について

自民党入党促進 目標：2000人/年

## ・日技連組織の強化拡大

令和2年会員入会目標：8,000口/年

## ・都道府県支部の組織確立

都道府県で活動するための組織の構築

青年部の設置等

## ・日臨技との連携

日本医学検査学会における企画『情勢報告会の開催』

支部学会における連盟に関する企画（連盟ブース、宮島喜文日臨技会長参議院議員と語る会等）



## ・都道府県技師会との連携

広報の強化、入会促進活動、国会議員や地方議員との関係強化、人材育成)

以上の説明があった。

連盟事業計画については、予算と密接に関係することから、第三号議案と一括して採決することとし、第三号議案の説明に移った。

## ◇ 第三号議案 令和2年連盟予算(案)について

中井幹事長より令和2年連盟予算案について説明があり提案された。

以上併せて質疑を経て採決が行われ、第二号議案、第三号議案とも全会一致で承認された。

提出議案終了後、連絡事項として、今年は役員改選時期のため

今後のスケジュールを報告して閉会した。

## 第2部 グループワークによる意見交換会

### 第2部 グループワークによる意見交換会

執行委員会終了後、グループ討議を行った。テーマは「組織強化に必要なこと～各支部における活動から、いかに会員を増やせるか～」とし、1グループ5～6名で意見交換と情報共有を図り、各グループで話し合ったことをまとめた。

発表の時間も作り、グループ内でどんな意見が出て、今後どのような取り組みが有効か等情報共有した。各グループの内容は後日まとめて、情報を発信する予定である。各都道府県での活動に参考にしていきたい。



## 第3部 京都府向日市 安田市長講演



### 第3部 京都府向日市 安田市長講演

『これからの臨床検査技師の在り方について（連盟活動を通じて）』と題し1時間の講演で、政治連盟の役割から臨床検査・臨床検査技師を取り巻く状況に対し、状況をどう変えたいのか、変えるべきなのか。変えるためにはどのような行動が必要なのか。熱く講演をいただいた。

日本臨床検査技師連盟執行委員会後に、京都府向日市の安田市長の講演会が開催されました。安田市長は我々と同じ、臨床検査技師の資格を持ちながら現在は市長としてご活躍をされております。偶然、出身校も同じで非常に親近感を持ちながら、熱意に満ちたご講演を拝聴しました。まずは、市長としての職責もあり、向日市が日本一面積の小さな市であることや歴史上重要な場所であったことなどユーモアを交えながら紹介していただきました。本題の技師連盟の必要性や現状のお話では、医師連盟や看護師連盟の組織力や活動内容などを解説いただき、それと比較し、いかに臨床検査技師が医療の中で地位が低く、臨床検査技師自身がその状況に甘んじているかと認識させられ危機感を覚えました。これからの未来ある若い臨床検査技師達の努力が報われるよう、市長が提言された「（卒前）教育制度の改革」「地位向上と職域の確保（業務独占）」の2点を重点的に、地臨技へ戻り伝達し、仲間を増やし組織強化をすることがこの講演に参加した者としての務めだと感じ、実践していく所存です。一人でも多くの会員へ安田市長の講演を聴いていただく機会があることを期待いたします。

（聴講者 愛知県臨床検査技師会副会長 中井美千代）

## 医療技術者団体協議会にて日臨技の政策要望を説明

令和元年12月25日参議院議員会館にて、「医療技術者団体協議会」政策懇談会が開催され、冒頭、医療技術者団体協議会代表の伊達忠一先生の挨拶で始まり、各団体代表者からの要望聴取があり、厚生労働省が要望等に対する考え、回答等があった。出席された国会議員は、小川克己参議院議員、宮島喜文参議院議員、蛙元将吾衆議院議員、厚生労働省の関係部局から26名が出席された。日技連から梶山代表が出席、日臨技より横地副会長、深澤専務理事が出席した。

日技連、日臨技の共同政策要望については、梶山代表が説明を行った。

なお、意見交換会の最後に、今後の当協議会代表について提案があり、伊達忠一先生が満場一致で決定した。

